

保護者・指導者の皆さんへ

このアクションプログラム集は、子どもたちが、家庭、学校、地域などの身近な場所で、楽しみながら環境について学ぶことができるよう、専門家の意見などを聞きながら、内容や構成を検討したものです。

今回作成した「地球環境・エコライフ編」では、「エネルギー」「地球温暖化」「エコライフ」をテーマに、それぞれのプログラムで、調査やワークシート作成などを通じて、自分の生活がどのように地球環境に影響しているか、また、自分たちが環境を守るためにどのように生活したらよいかなどについて、自ら考え、環境にやさしい行動の実践につながるよう配慮しています。

保護者・指導者の皆さんには、子どもたちがプログラムの実施を通して、それぞれの「ねらい」に気づくことができるようアドバイスをお願いします。

また、子どもたちがプログラムに取り組む際、安全に実施できるよう、万全の注意をお願いします。

このアクションプログラム集が、たくさん子どもたちに活用され、環境について考えるきっかけとなってくれることを期待しています。

ここでは、それぞれのプログラムごとの「ねらい」と、「安全面や実施上の注意点」をまとめましたので、子どもたちへの指導や、プログラムを実施する際の参考としてください。

1. W(ワット)を探せ！（P8）

〈ねらい〉

★身近な電気器具の消費電力調べを通して、普段の生活で何気なく使用している電気器具が、ものによってはとても多くの電力を消費しているという認識につなげ、その使い方・時間などの考察を通じ、節電に配慮した電気器具の使用を考えさせる。

〈安全面や実施上の注意点〉

- ◆消費電力が大きくても短時間しか使わないもの、反対に、消費電力が小さくても常に電力を消費しているものなど、それぞれの電気器具に電力消費上の特徴があることを気づかせるとともに、それに基づき使い方の工夫を考えさせ、節電意識の向上につなげることができるよう、適切なアドバイスをお願いします。
- ◆Wは電気が仕事をする力、すなわち、電気器具を動かす時に使われる電力の単位です。関連した単位に、Wh（ワットアワー）があり、これは電気の使用量を表す単位で「消費電力」×「時間」で計算します。
- ◆最近では、省エネタイプの家電製品が多く販売されているので、「省エネ製品を探せ！」のようなプログラムにも挑戦してみてください。
- ◆発展として、電気器具が家庭に普及してきた年代を調べて年表にし、エネルギー消費の急速な増加や、電気器具の必要性などについて考えることも良いでしょう。
その際、年配の方から昔の生活について話を聞くなど、世代間の交流を図りながら、それぞれの生活をふりかえり、これからの環境を考えるきっかけとしてほしいところです。

2. 我が家のCO₂チェック (P10)

〈ねらい〉

★自分の生活における省エネ度のチェックや、自分の家のCO₂排出量の調査を通して、「エネルギーの消費 → CO₂を排出 → 地球温暖化への影響」という構図の認識につなげ、CO₂の排出を減らす取り組みについて考えさせる。

〈安全面や実施上の注意点〉

- ◆実施する子どもの年齢や状況によっては、「すすめ方1」だけを実施しても良いでしょう。
- ◆「すすめ方2」の「CO₂チェックシート」は、季節の変わり目などに実施すると、作戦実行後にCO₂が減らなかったり、逆に増えたりすることがあるので、できるだけ外気温の変動が少ない2ヶ月間で実施してください。
- ◆冬期間は、地域や住宅によって、積雪により水道メーターが確認できなくなる場合がありますので、留意願います。

3. 自動販売機マップ (P14)

〈ねらい〉

★地域における自動販売機の調査やマップづくりを通して、普段利用している自動販売機が、多くのエネルギーを消費していることやCO₂を排出していることへの認識につなげ、便利なものであっても、反面、環境に大きな負荷を与えていることについて考えさせる。

〈安全面や実施上の注意点〉

- ◆安全にプログラムを実施するために、自動販売機を調査する区域を限定することや、危険な場所に立ち入らないよう、指導をお願いします。
- ◆自動販売機1台あたりの年間消費電力量は、平均的なもので、飲料用が2,600kWh、たばこ用が750kWhです。(飲料用は、冷却機能があるため消費する電力量が大きい。)

4. 木が吸収するCO₂はどのくらい? (P16)

〈ねらい〉

★木(森林)がCO₂を吸収・貯蔵するという働きや、木が吸収するCO₂の量と自分たちの生活からのCO₂排出量との比較を通して、木や森林が、地球温暖化を防ぐために果たす役割について考えさせる。

〈安全面や実施上の注意点〉

- ◆子どもたちが、森林のCO₂吸収に関心を持つことができるよう、代表的な樹種の一般的な貯蔵量、吸収量を示していますが、実際の数値は、同じ樹種でも生育地や生育環境により異なります。
- ◆北海道水産林務部森林計画課のホームページ「森林のもつ二酸化炭素吸収・貯蔵機能について」では、森林のCO₂吸収量などに関する資料や、簡単な入力で地域ごとの吸収量が計算できるページなどがありますので参考にしてください。
☆ホームページアドレス <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/srk/co2/index.htm>
- ◆北海道がめざすこれからの森林づくりについての計画などが、北海道水産林務部のホームページにありますので参考にしてください。
☆ホームページアドレス <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/sum/kcs/r-g/top.htm>